



スポーツの秋を楽しむ 第41回市民スポーツ祭

10月14日体育の日、第41回市民スポーツ祭が市運動公園陸上競技場などを会場に行われました。約700人が参加し、今年度前期の体育功労者、優秀選手の表彰や各種競技が行われました。
午前の全体競技では大玉送りや玉入れ、ギネスに挑戦(大縄跳び、10人11脚)などを実施。多くの市民がスポーツの秋を楽しみながら、心地よい汗を輝かせていました。



クイズに答えながら里山に親しむ 永明寺山ふれあいウォーク

10月19日、永明寺山ふれあいの森を創る会主催で永明寺山ふれあいウォークが開催されました。秋の永明寺山を周遊するウォークラリーで、約3kmのコースをクイズに答えながら進みました。難しい問題もありましたが10問全問正解したグループも。次の問題を楽しみに元気に歩みを進めていく姿が見られました。
ウォークラリーの後には、永明寺山の間伐材で育てたキノコ汁を楽しみました。



多彩な催しで交流を楽しむ 玉川ケヤキフェス

10月6日、玉川小学校と玉川地区コミュニティセンターを会場に「玉川ケヤキフェス」が開催されました。
人と人のきずなを大切に、安心して元気に楽しく暮らせる玉川！をメインテーマに、歩行者天国となったケヤキ並木では玉川特産のセルリーなどを販売するマルシェや、玉川にゆかりのあるカフェが出店され、地区内の各種団体、事業所などが集まる一大イベントに大勢の人達でにぎわいました。



新たなデザインが市内をめぐる 路線バス新車両出発式

10月16日、中学生がデザインをした路線バスの新車両の出発式を茅野駅西口バス停留所にて開催しました。
地域公共交通を維持するために、老朽化した車両を新調するに当たり、市内中学校の美術部にデザインを依頼。長峰中学校の北原羽流さんと桜井詩歩さんの案が採用されました。八ヶ岳やマスコットキャラクターの「ちーほ」が使われたデザインとなりました。
出発式では市長らによるテープカットを実施。新調されたバス車両が、見送られながら出発していきました。



5000年前の先人の想い

茅野市5000年 尖石縄文まつり

10月13日、尖石縄文考古館周辺を会場に尖石縄文まつりを開催しました。台風19号の影響で一部イベントは中止となりましたが、数多くの催しに親子らでにぎわいました。
オープニングイベントでは縄文人と同じように火おこしを行い、聖火を掲げて開幕しました。メインステージでは複数の団体による太鼓の演奏などのコンサートが行われ、小学生らが元気な演奏を披露してくれました。
イノシシの書かれたボードにやりを当てるなどのゲームをめぐる縄文トレジャーや縄文風の住居を作る催し、縄文クッキーや農産物の販売コーナーもあり、多くの方が縄文に親しみました。



廻り舞台でつなぐ～地域と子どもたちの心～ 槻木の廻り舞台 秋の会

10月5日、茅野市泉野にある市有形文化財「槻木の舞台」で「廻り舞台 秋の会」が開かれました。
この舞台は江戸時代末期の建築で、時代とともに損傷が進んでいましたが、国や県の支援を受けて復活。発表会は今年で7年目となりました。
今年は泉野小学校児童、泉野分団ラッパ隊、八ヶ岳泉龍太鼓、泉野保育園児、やつがたけ民謡研究会、東部中学校吹奏楽部などが出演。子どもと大人が一緒になって舞台を作り上げ、訪れた大勢の観客を楽しませました。



今回で6回目の「恩返し」 第6回おむすびコンサート

9月29日、松本市を拠点とする中高生ジャズバンド「ザ・ビッグバンド・オブ・ミュージックトイズ」による「第6回おむすびコンサート」が金沢小学校体育館を会場に開催されました。このコンサートは2014年2月の豪雪時に、遠征に向かっていたメンバーのバスが国道20号の金沢地区で立ち往生し、住民からおむすびなどの差し入れを受けた「恩返し」として始まりました。
子どもからお年寄りまで約250人が来場し、ジャズバンドの演奏に聴き入りました。